

| 教科・科目 | | 学科・学年 | 単位数 | 教科書 |
|----------|---------------------------|--|-----|--|
| 美術・美術 I | | 普通科・1,2年 | 2 | 高校生の美術1(日本文教出版) |
| 科目の概要と目標 | | 美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方、考え方を働かせ、美的体験を重ねて、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。 | | |
| 学期 | 単元 | 学習内容 | | 到達度目標 |
| 1 学期 | メッセージを伝える。ポスターを作ろう。(平面構成) | ・私の考えるデザイン。 | | ・伝えたいメッセージや伝える場面をもとに、形や色彩、イラスト等による伝達効果を考え構想を練るとともに、文字の形や色、レイアウト効果、絵具の特性などを生かし注意喚起を目的としたポスターの構想を行うことができる。 |
| | 立体表現の魅力(立体表現のよさや特性) | ・身近な素材と立体表現、陶芸粘土で表現する。 | | ・立体作品の質感や量感、重心など、立体表現の良さや特性について考えることができる。 |
| 2 学期 | ・校内案内板のデザイン | ・伝達する内容や目的、見やすさを意識したマーク。(ピクトグラム) | | ・伝達内容や美しさの調和を考えて構想を練り、効果的な形や色を使用し、伝達の目的や意図に基づいてマークやピクトグラムをデザインすることができる。 |
| | ・版で表す | ・色の重なり効果を考え制作する。 | | ・版画の表現のよさや特性を理解し、表現効果を考え構想を練り、全体のイメージや線や面などの版の表現効果を生かして、彫りや刷りを工夫して表すことができる。 |
| 3 学期 | ・素材を生かした立体表現 | ・身近な素材を利用して立体作品をつくる。 | | ・素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感などの効果を考え、バランスや動きなどの効果を工夫し、加工や接着方法を理解して素材の特性を生かして表し方を工夫することができる。 |